

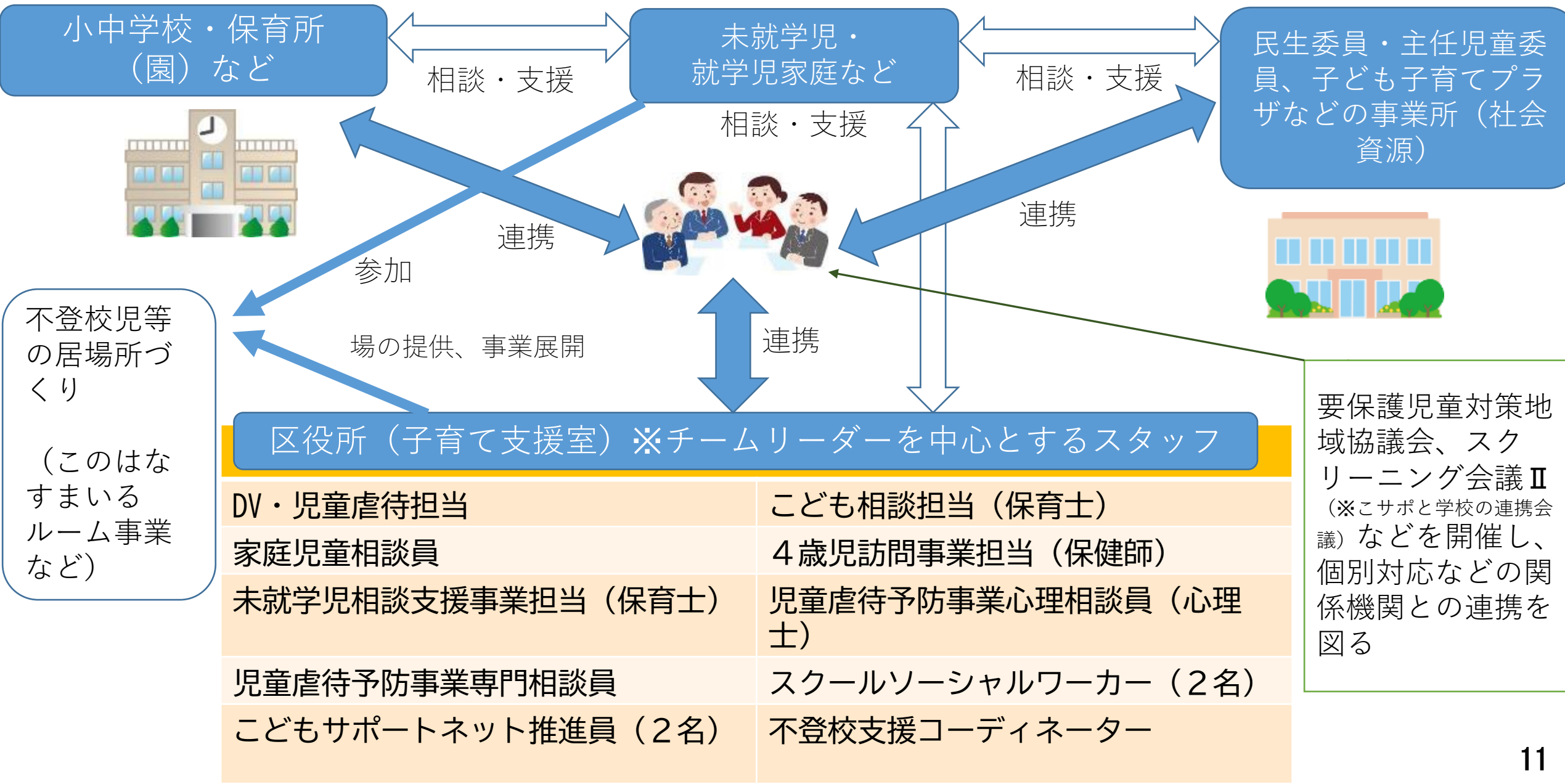
経営課題 3 福祉【児童虐待予防】



課題認識	R 5 年度 主な戦略	R 5 年度 取り組み状況	次年度への課題	R 6 年度 取り組み計画（案）
児童虐待を未然に防ぐことができるよう支援の必要な子どもと保護者を孤立させない取組が必要である。	4 歳児を中心に無在籍や無登園の子へのアプローチを強化する。 学校と子育て支援室との連携を密にし、役割を明確化することで、学校の状況に見合った支援の導入を図る。	【R5年度目標】 重大な虐待件数0件 →重大な虐待件数0件 （令和 5 年10月31日現在） 【具体的取り組み】 4 歳児訪問・見守り支援事業の実績 令和 5 年度 対象児童数458名 無在籍や無登園の児童への家庭訪問や、保育所・幼稚園への訪問を実施 SSW（スクールソーシャルワーカー）の増員 令和 5 年10月にヤングケアラーSSWが配置され、これまでのこどもサポートネットSSWと 2 人体制へと増員 こどもサポートネット推進員の実績 （令和 5 年 4 ～10月まで集計分） 電話 296件 手紙等 6件 家庭訪問 41件 その他（区役所で面談等）2件	関係機関との連携 保育所や幼稚園との連携の継続が必要	4 歳児訪問・見守り支援事業において、保育所や幼稚園が虐待の兆候や状況の変化を把握して区役所と連携できるよう、変化の兆候等にかかる事例共有を行う。 （2,283千円）
		不登校の課題 ケースに応じて学校も含めた役割分担や連携の強化が必要	このはなすまいるルーム事業を活用してこどもの居場所を確保するとともに役割分担や連携の強化につながるよう、学校等との認識共有の強化につながる資料を作成 （1,035千円）	
		心理的な課題 小学校において、こども青少年局から派遣のSC（スクールカウンセラー）への相談ニーズが高まっている。	SC（スクールカウンセラー）への相談ニーズを補うため、児童虐待予防事業による支援を進める。その周知を推進するためにわかりやすいPR媒体等を作成 （8,577千円）	
			地域との連携 こどもサポートネット事業は、学校や区役所による支援が中心であるものの、地域との連携についても必要	こどもサポートネット事業において、全小学校区に拡充したこどもの居場所等の地域資源を紹介するためのツールを作成

10

子育て支援室の体制と関係連携図（イメージ）



課題認識	R 5 年度 主な戦略	R 5 年度 取り組み状況	次年度への課題	R 6 年度 取り組み計画（案）
地活協の認知度を向上させるため地活協が実施している行事やイベント等において、地活協の取組が多岐にわたることを周知する必要がある。	区役所や地活協で実施しているPRに加え、地活協が実施している行事やイベント等において、さまざまな媒体を活用し、地域での活動や取組を地活協が中心となって開催していることをPRし、認知度向上を図る。	【R5年度目標】 区民アンケート調査（市民局実施）で「地活協を知っている」と回答した割合：56%以上（目標年次：令和6年度） 【具体的取り組み】 地活協のSNSを開設し取組をPR（2地域） 区広報紙への掲載（毎月） 区役所、区民ホールで地活協の記事を掲載した壁新聞を掲示（毎月） 区民まつりや地域行事で地活協の説明を記載したコミュニティアンケートを実施（5回予定）	引き続き、SNSと紙媒体を活用し、地活協の取組をPRし、認知度向上を図る。	地活協SNS開設地域は運営支援を実施。さらに地活協SNS未開設地域（4地域）において支援を行い、全地域での開設を実施 区広報紙、地活協の記事を掲載した壁新聞を掲示 区民まつりや地域行事で地活協の説明を記載したコミュニティアンケートを実施
地域活動のスタッフが一部固定化している傾向が見られることから、新たな地域活動の担い手を確保する必要がある。	意欲と能力のある新たな担い手の確保や、幅広い年齢層が地域活動に参画できるための支援を行う。	【R5年度目標】 区民アンケートで地域活動にスタッフとして参加したことがあると回答した割合：27%以上（目標年次：令和6年度） 【具体的取り組み】 町会加入促進チラシを全戸配布（7月） 地活協や町会などの団体が公式LINEなどを活用し加入促進を図ることができるよう支援	引き続き、新たな地域活動の担い手を確保するため、町会加入率向上や地域活動へ参画の機会創出に向けた取組を進める。	地活協の重要な構成団体である連合振興町会を構成する町会への加入率向上に向けた取組を実施。地域と企業等の連携を図り新たな担い手を確保する交流会を実施
地活協の意義や地活協に求められる準行政的機能や総意形成機能について、地活協構成団体の理解度を向上させるための取組をまちづくりセンターが繰り返し実施する必要がある。	地活協に求められる総意形成機能や準行政的機能について、地活協の役員や構成団体、地域住民の理解が深まる取組を実施する。	【R5年度目標】 地活協の構成団体へのアンケートで総意形成機能を認識していると回答した割合：74%以上 準行政的機能を認識していると回答した割合：71%以上（目標年次：令和6年度） 【具体的取り組み】 地活協運営委員会や会計説明会の場で地活協の総意形成機能や準行政的機能について説明を実施（9地域対象：6月,11月運営委員会、8月,12月会計説明会）	引き続き、地活協の意義や求められる機能の理解促進に向けた積極的な働きかけが必要	地活協運営委員会や会計説明会の場で地活協の総意形成機能や準行政機能について理解を深めるため説明会を実施するとともに、区民理解を深めるため区ホームページにて説明を行う。

【まちづくり】事業のようす

壁新聞で
地活協の周知



地活協運営委員
会で地活協機能
を説明



町会加入促進 ポスター

町会加入 募集しています！

町会ってなあーに？

「町会」は、住みやすいまちづくりのために、ご近所のみなさんでつくる組織です。地域でのイベントや活動に参加したり、隣近所でのつながりや知り合いが増え、防災など、いざという時に助け合える関係がうまれます。

どんな活動をしているの？

■コミュニティづくり

- ・季節の行事や、交流イベントなど、楽しい行事がいろいろ
- ・子どもたちのつながりづくり（子ども会）
- ・地域の清掃活動
- ・見守り活動や歳末役替等

■地域の情報発信

- ・回覧板、町会掲示板などでの地域情報の発信
- ・現在は、新たにLINEを使った回覧板や地域情報の発信にもチャレンジ中

■地域の安心づくり

- ・災害時には町会単位で災害対策など、さまざまな連携
- ・いろいろな世代の居場所づくり、つながりづくりにも今後取り組んでいきます

☆町会に参加した人たちの声☆

「面倒だと思っていた近所づきあひも、思ったほどでなくて安心です。」

「気になっていたイベントにも参加しやすくなりました。」

町会に入ったら、なにをすればいいの？

まずは気になる行事や活動に参加してみるといいかもしれません！ 知っている顔が増えると、地域に暮らす安心感や、楽しみも生まれます。関心のある行事や活動に関わることで、地域はより暮らしやすいまちになっていきます。

このチラシについての
問い合わせ先

このはなまちセン
TEL : 06-6462-3609
E : konohana-achikyou@ark.ocn.ne.jp

● 町見地域行事予定 ●

- ・11/12(日) ふれあいフェスタin高見フローラルタウン
(ふれあい会館や生涯学習ルームの作品展示もあります)
- ・12月末 歳末夜宴
- ・R6年1月 新春 おもちつき大会
- ・R6年2月 防災訓練

※予定は確定ではありません。

課題認識	R 5 年度 主な戦略	R 5 年度 取り組み状況	次年度への課題	R 6 年度 取り組み計画（案）
地活協による地域課題の解決に向けた取組が進んでいない地域があることから、区役所やまちづくりセンターがそれぞれの地域特性に即した地域課題を把握し、それに応じた最適な支援を行う必要がある。	まちづくりセンターが作成した地域カルテをもとに地域担当、まちづくり推進課と情報共有の会議を開き地域特性に即した地域課題の共有と解決策の検討を行い、地活協が自律的に解決できるようきめ細やかな支援を行う。	【R5年度目標】 地活協の構成団体へのアンケートで地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：94％以上 （目標年次：令和6年度） 【具体的取り組み】 地域担当が出席した町会長会議等の議事を集約し、他の地域担当に情報共有を行い課題解決策の検討を実施(随時)	引き続き、地域課題を共有し解決策を検討し、地活協が自律的に課題を解決することができるような支援が必要	地域カルテを活用した地域活動協議会の活動活性化と自律的運営の促進を強化していく。 地域担当が把握した地域課題の情報共有及び解決策を検討し、最適な支援を実施する。
2025大阪・関西万博のご当地として、万博を契機にまちを活性化する必要がある。	万博を契機とし 官民連携によるエリア整備 に取り組む。万博のレガシーを区内につくることに取り組む。	【R5年度目標】 万博を契機とした 官民連携によるエリア整備 を実施する：1件 【具体的取り組み】 官民連携による水辺賑わいづくり事業を軌道に乗せる：1件	令和6年度はエリア整備工事が本格的に進められていく。	エリア整備工事の本格実施及び協議会などを通じた進捗を共有する。
		【R5年度目標】 正蓮寺川公園に万博のコンセプトを踏まえたアートを設置する：1件 【具体的取り組み】 万博のロゴマークをモチーフとした パブリックアート の設置 （1件 3月予定）	令和6年度からアートプロジェクトを本格実施していくにあたり、区民・地域と一体となってより強力に推進し、まちの盛り上げや活性化を図っていく事が必要	区民との共創によるパブリックアートの制作・設置及びデビューイベントの開催 【新規】 （22,400千円） 正蓮寺川公園でまちの盛り上げを目的としたアートイベントの開催 【新規】 （1,988千円）

プロジェクトスケジュール

2023年度

2024年度～

2044年頃

コアメンバー会議で検討

- ・ 体制づくり
- ・ 正蓮寺川公園アートプロジェクト「konohana permanentele 100+」の構想づくり

機運の盛り上げ

- ・ **万博応援作品**の制作で強力に発信
 - ① 万博ロゴアート制作
 - ② 強力な発信力のあるものを制作
- ・ イベント、パラペットに文字など

本番作品100+づくり！！

- a 区民との共創アート
- b 企業による作品
- c 万博モニュメントの移設（2025年～2026年）

此花・大阪のまち全体を盛り上げ

（まちなか作品&アートイベント）



経営課題4 まちづくり・環境【環境】

課題認識	R 5 年度 主な戦略	R 5 年度 取り組み状況	次年度への課題	R 6 年度 取り組み計画（案）
地球の環境は悪化の一途をたどっていることから、区民ひとりひとりに持続可能な社会の実現に向けて関心を持っていただく取組を行う必要がある	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクトについて、未実施の地域で説明会を実施する。	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクトについての説明会を新たに3地域（伝法地域、恩貴島地域、春日出地域）で実施	全10地域での実施に向けて引き続き説明会を実施	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクトの実施地域を拡大するために未実施の地域へ働きかけを実施
	児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなコンテンツを学校に提供し、授業において活用してもらう。	【R5年度目標】 地球環境に関心を持っている子どもの割合：95％以上 （目標年次：令和6年度） 【具体的取り組み】 児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなロボットを用いた環境学習コンテンツを学校に提供し、授業において活用 （全8小学校で実施予定）	引き続き持続可能な社会の実現に向けて児童が地球環境に関心を持てるように取り組む事が必要	児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなコンテンツを学校に提供し、授業等において活用してもらう

みんなでつなげる ペットボトル循環プロジェクト



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標